

もうひとつの麻布の軌跡

グルーの桜 地元小学校へ引き継がれた平和の心

今年の春、ことのほか開花を楽しみにしていた桜がある。麻布台一丁目、港区立麻布小学校に植えられた「グルーの桜」だ。「麻布の軌跡」の本編で、グルー大使が帰国直前、桜を植樹した旨の記述があるが、そこから分枝したものだという。どのような経緯なのかを語りたい。

4月初旬から様子を見に行くこと3度目。ソメイヨシノが散りかけた頃、青葉とともに八重の花を咲かせたその姿を写真におさめることができた。枝ぶりはほっそりしているが、瑞々しく爽やかさにあふれる。樹の前の由来記のプレートには、このようにある。

『「グルーの桜」 開校百三十五周年記念樹 由来記 昭和十七年、当時の駐日米大使 故ジョセフ・グルー氏が、戦争のため米国に帰国するに際し、日米間の平和を願って大使公邸の庭園に一本の桜を植えた。植樹に際し、故グルー氏は、「桜が咲く頃、時計の振り子が戻るように平和がよみがえる」と語ったという。

その「グルーの桜」は、戦後に一度枝分けされ、現在も大使公邸に花を咲かせている。

そこからさらに取り木した「三世」のこの桜は、故グルー大使の平和への願いと日米親善の思いを伝えている。

この「グルーの桜」の由来を母校に伝えようとした一人の本校卒業生の発意を受けたジョン・ルース駐日米大使の好意により、このたび麻布小学校に寄贈された。

本年は学校創立百三十五周年にあたり、同窓会記念事業の一環として、ルース氏の臨席のもとに植樹したものである。

平成二十二年十月十九日

寄贈 在日米大使館

協力 港区立麻布小学校同窓会

文中にある一人の卒業生、それは昭和17年度に卒業した船山喜久彌さん(故人)という人物だ。喜久彌さんの父上の貞吉さんは米大使館に勤め、グルー大使が植樹を行うのを見届けていた。喜久彌さんが貞吉さんから聞いた話をもとに後年記した著書「白頭鷲と桜の木」には、『貞吉は毎月十日にたつ、すぐ近くの虎の門の金比羅神社の植木市に、警官の付添いのもとに出かけて行って、桜の苗木を手に入れた。(原文のまま)』とある。喜久彌さんは貞吉さんが常に語っていた、桜の木がいつまでも枯れることがないようにという思いを深く心にとめ、母校に残すべく計画した。植樹して3度目の春、平成25年に初めて花を咲かせた。



今回の取材にあたり、港区立麻布小学校の現校長の菅野宏隆先生と、船山さんの3年後輩で、船山さんとともに分枝のプロジェクトを推し進めた現評議員の清水宏さんにお話をうかがった。お二人とも、桜の生育を見守り無事の開花に心から安堵する方たちだ。桜を通じて脈々と受け継がれてきた平和への希求。大樹となる未来においても決して変わることがないようにと、筆者も心から願う校庭を後にした。

- 参考文献 ●.....
- 船山喜久彌 著 「白頭鷲と桜の木」 亜紀書房
- 取材協力
- 港区立麻布小学校校長 菅野宏隆先生
- 港区立麻布小学校卒業生 評議員 工学博士 清水宏さん



木の策で囲われ保護されているグルーの桜。

グルーの桜を見守る方たち

■ 校長 菅野宏隆先生

グルー大使がいかに日米の和平に尽力したかその史実を知ったとき、深く感動しました。その思いのこもった桜がわが校に伝わるとは、素晴らしいことです。初めて花を咲かせた時には学校だよりにトピックとして掲載し、昨年の開校140周年記念事業で制作した記念冊子「あざぶ」にも、「グルーの桜」の章を設け、学校の歴史に刻みしました。



由来記のプレートの前にて。

■ 卒業生 評議員 清水宏さん

当時の船山喜久彌さんの「分枝したい」という願いは大変なもので、その熱意にほだされるように私も尽力いたしました。米大使館への申し入れから植樹まではスムーズに運び、式典にはルース大使も参加され、和やかに懇談したのを覚えています。この桜に限らず、戦争の記憶を後世に伝えるための機会は大切にしていきたいと考えています。



式当日を写真でふり返って。



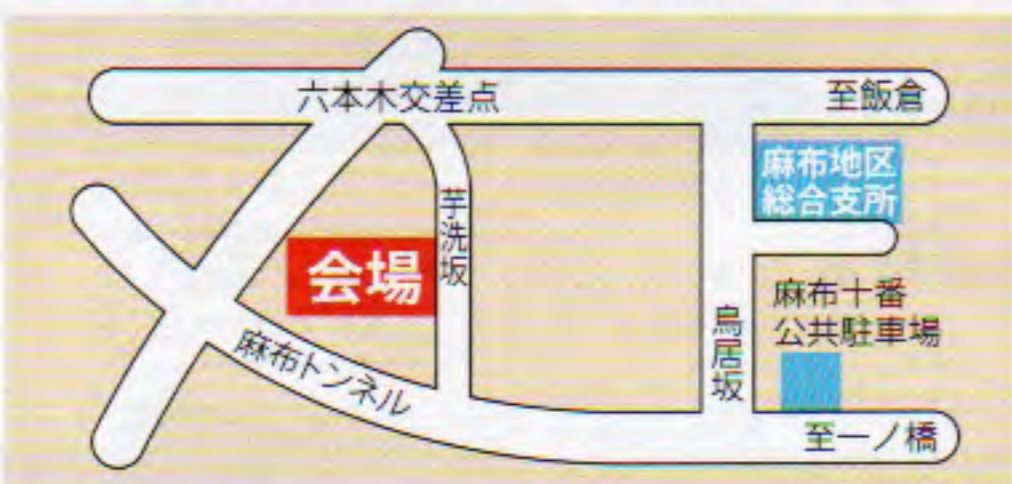
平成22年、植樹式当日の様子。写真提供：港区立麻布小学校

(取材・文/田中亜紀)

平成28年度港区総合防災訓練(麻布会場)を実施します

～どなたでも参加可能です～

「自助」意識の向上を目指そう!～災害時には、地域での協力に加えて、個人の備えも必要です～



日時 平成28年11月13日(日)
9:30～11:30 予定
場所 港区立六本木中学校
校庭及び体育館
六本木6-8-16

今回の総合防災訓練では、今後30年以内に70%の確率で発生すると言われているM7クラスの「首都直下地震」に被災して、多くの建物および人的被害が出たことを想定し、さまざまな訓練を行います。訓練に参加していただくことで、一人ひとりの防災意識の向上や「被災時に的確な行動をとり、自分が何をすべきか」について考える良い機会になります。大規模災害から自分や家族の命、地域を守るためにも、ぜひ港区総合防災訓練(麻布会場)にご参加ください。

お問合せ/麻布地区総合支所協働推進課協働推進係
電話/03-5114-8802

※詳細につきましては、次号(37号)でご案内いたします。

麻布小学校で雛人形・五月人形が飾られました

昨年、麻布小学校が開校百四十周年を迎え、麻布小学校同窓会から「雛人形」・「五月人形」が贈られました。

寄贈品は、麻布小学校の玄関ホールに飾られ、在校児童をはじめ、学校に訪れた多くの方々を楽しませていました。



雛人形(平成28年3月)

五月人形(平成28年5月)

港区社会福祉協議会からのお知らせ

「第36回共に生きるみんなの歌と踊りのつどい」を開催します。

歌や踊り、詩の朗読を通じて、障害のある人もない人も一緒になって参加し、楽しむ毎年夏の恒例行事です。ぜひ会場へお越しください。

日時 平成28年7月2日(土)午後1時30分～4時
会場 麻布区民センター 区民ホール
内容 区内の福祉施設・ボランティア団体などによる歌・ダンス・詩の発表
入場料 無料

お問合せ/港区社会福祉協議会 地域福祉係
(みなとボランティアセンター)

電話/03-6230-0281

臨時福祉給付金担当からのお知らせ

低所得の高齢者への支援として、「高齢者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)」を支給します。

対象者 平成27年度臨時福祉給付金対象者(平成27年1月1日時点で港区に住み票があり、平成27年度分の区民税(均等割)が課税されていない方)のうち、平成28年度中に65歳以上になる方

※区民税が課税されている方の扶養親族等や生活保護制度の被保護者は対象になりません。

支給額 支給対象者1人につき3万円

申請期間 平成28年4月26日(火)～7月29日(金)

※対象者には、平成28年4月25日(月)に申請書を発送しています。

申請方法 申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添付し、同封の返信用封筒で返送してください。直接提出する場合は、以下の臨時受付窓口にお越しください。なお、芝地区総合支所以外の臨時受付

窓口の開設期間は、6月30日までとなっておりますので、ご注意ください。

※受付時間 平日(土・日曜日、祝日を除く)午前8時30分～午後5時(水曜日のみ午後7時まで※台場分室は除く)

■芝地区総合支所

平成28年4月26日(火)～7月29日(金)

■麻布・赤坂・高輪・芝浦港南地区総合支所及び台場分室

平成28年4月26日(火)～6月30日(木)

お問合わせ/保健福祉支援部保健福祉課
臨時福祉給付金担当

電話/03-3578-2846

給付金に乗じた振り込め詐欺や個人情報の詐欺に注意してください。